

コロナ禍をのりこえて 人にやさしい 北茨城を

ひたむき、
全力!!

「コロナでどこにも行けず、気がめいってしまう」
「国保税や介護保険料が高く、年金だけでは暮らしていけない」——市民の切実な声です。

私は6期 22 年間、“ひたむき、全力”をモットーに
市民の願いを市政にとどけてきました。

コロナ感染から市民の命と暮らしを守り、
人にやさしい北茨城をつくるために、
ひきつづきががんばります。

鈴木やす子

いのちと
くらしを
まもる

コロナ
緊急対策

- PCR検査を拡充し、だれもが無料で受けられるよう努めます。
- 病院・福祉施設・保育園などの関係者全員の定期的なPCR検査を実施します。
- 雇用調整助成金を延長して、業者の営業を守ります。
- 3密回避のため、小・中学校の少人数学級を推進します。

再稼働
ストップ
廃炉へ

東海
第2原発

市民の多数は再稼働反対です。
この願いにこたえます。

- 東海第2原発の再稼働に反対し、「原発ゼロ」の日本をめざします。
- 再生可能エネルギーの推進で、電力の「地産地消」をめざします。
- 福島第1原発事故の汚染処理水の海洋放出に反対し、常磐沖の豊かな漁場と自然環境を守ります。

北茨城から
菅政権への
声を

菅政権に
審判

菅政権はコロナ感染対策の無為無策、日本学術会議の任命拒否の強権政治などで支持率が急落。こうした政治は変える以外にありません。

- 高齢者に冷たい 75 歳以上の医療費の2割負担はストップさせます。
- 消費税を緊急に5%に減税し、くらしと営業を守ります。
- 「貧困と格差」を広げる社会を変えて、8時間働けば普通に暮らせる社会をめざします。

日本共産党 市議会議員
プロフィール

◆北海道旭川市出身 ◆1956 年生まれ
◆昼は働きながら東京都立大学（夜間）卒。専攻は教育学 ◆1985 年、土の上で子育てをしたいと願って、夫のふるさと北茨城市に。4ha の田畑で有機農業、自然養鶏を営み、地元で産直 ◆市議6期。現在文教厚生副委員長、「議会だより」副編集長 ◆2 男 2 女は独立し、3 人家族
◆住所は磯原町木皿 1399 ◆☎42-2462



「野党共闘の要」日本共産党を伸ばして 「政権交代」の流れを

北茨城民報

2021 年 2.3 月号外

発行／日本共産党北茨城市委員会

北茨城市磯原町木皿 1399 電話 0293-42-2462

日本共産党の見解を紹介します。

募金へのご協力をお願いします。

みなさんの
願い届けて
実現しました

鈴木やす子



大内くみ子日本共産党元県議と一緒に街頭で

■中学校給食が今年4月から無料化に

4年前の市議選で学校給食の無料化を公約。議会や毎年の予算要望でも求めてきました。今年の新学期（4月）から中学校の給食が無料化される予定です。ひきつづき小学校給食の無料化をめざします。

■子どもの医療費の18才までの無料化

子どもの医療費の無料化を一貫して主張。ねばり強い取り組みで18才（高校卒業まで）までの無料化を実現。「本当に助かる」と喜ばれています。

■コロナで売上が20%以上の減少なら持続化給付金の対象に

国の業者への持続化給付金は前年度に比べて、事業収入の50%以上減収が条件です。市の独自策を要求し、20%以上の減収なら給付の対象になりました。

■国保税・介護保険料の値上げを押さえる

「国保税、介護保険料が高すぎて、先を考えたら眠れない」。高齢者の不安は深刻です。いつも値下げを求め、この4年間、値上げを押さえてきました。ひきつづき値下げを求めます。

いのち・くらしを守る 私のお約束

■教育費の保護者負担の軽減

「だれもが、ひとしく教育を受ける機会を」——これが教育基本法の理念です。貧困と格差が広がるもとで、保護者の負担軽減は切実です。小学校給食の無料化、中学入学時の制服代などへの支援をめざします。

■病院、介護・福祉施設への支援

コロナ感染のもとで、病院や介護・福祉施設、保育園などで働く人の負担は大変です。またこれらの施設の減収も深刻です。国と県に減収補てんを求め、市の独自策も要望します。

■防災ラジオなどで安全なまちづくり

「今の屋外の防災無線では十分に聞き取れない」——これが多くの市民の実感です。家の中でも聞こえる防災ラジオや防災緊急放送の検討を求めます。

■市内交通網の拡充

「免許を返上したいが、病院や買い物にも行けなくなる」など、高齢者の困惑の声が相次いでいます。市民バスの拡充については、利用者や市民の意見をよく聞いて反映させます。

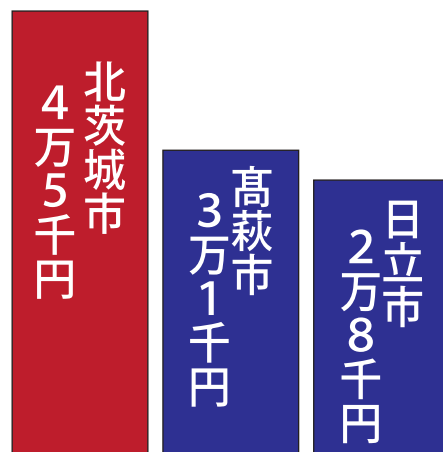
■市民に寄り添う議員として全力

日本共産党が今年1月に実施した「住みよい北茨城市をめざすアンケート」には、市民の要求がぎっしり。いつでも市民に寄り添う議員として、困った人にやさしい政治をめざします。

基金を市民のために活用を

自由に使える財政調整基金は約19億6500万円（H30年決算）。

コロナ禍の今こそ、その一部を活用して市民要求の実現をめざします。



県北3市の1人当たりの額（財政調整基金）

鈴木やす子議員の 「原発ゼロ」への思いは 本物です

鈴木やす子議員は、議会で唯一、東海第2原発の再稼働ストップを主張。自らドイツに行って再生可能エネルギーの実態を視察。

「子どもたちに豊かな自然を残し、原発ゼロの日本を」——この思いは本物です。

市議会になくってはならない議員です。

（元市議会議員・福田明）

